



カンボジアの子どもたちに教科書を

2015年6月 No. 53

カンボジア便り

市井秀治

～目次～

カンボジア便り

支援見直し後の現地状況	1
ボランティアさんの感想	2
決算報告と予算	3
庶務事項告	4

支援見直し後の現地状況

前回のニュースレターでお伝えした通り、当会ではカンボジアでの事業を大幅に縮小することにいたしました。新しい方針に基づき、4月末でルセイサン幼稚園の教員給与と通園車両の支援を停止しました。

支援停止に当たり、現地の努力によって教育体制を整えるように要請しており、今年度の残りの期間に関しては、教育局の局長の自己負担と女性局の支援で教員給与が支払われることが決定しました。来年度以降、しっかりと教員給与が支払われることになるかは予断を許しませんが、現地の人達が自立して教育に向き合ってもらおうという

意味で、一歩前進と言えます。通園車両に関しては、現地での支援は難しいということで、5月からは車両の運行は無くなりました。結果として、一時は最大で50人程度まで増えていた幼稚園への通園状況も減少し、日によっては7～10人、多い日には20人、といった形で推移しているとのこと。毎日通園する子どもの数が大きく異なるのは、親の仕事の状況に応じて、親が子どもを幼稚園に通わせることができるかが変わるため



です。当会では引き続き識字学校の支援を継続して行きますが、ルセイサン幼稚園や教科書支援先の小学校に関しても、現地の人達の自立を促していきたいと考えています。

ボランティアさんの感想

団体設立目的に共鳴してボランティア初参加～文京国際交流フェスタ～

公務員 柳 沙綾

今回、私は初めてボランティアに参加しました。以前からボランティアに興味がありながらも、仕事等で都合が合わず参加への一步を踏み出すことができずにいましたが、日韓アジア基金による募集を拝見し参加を決意しました。

その決め手となったのは、“日韓の若者が協働し、アジアの恵まれない人達を支援するなかで互いを知り、歴史の壁を越えたい”という日韓アジア基金の設立目的に共鳴したからです。

私は、幼少期から海外旅行を通じ様々な国を訪れてきましたが、なかでも韓国が大好きです。日本と韓国の関係は、「近くて遠い国」と表現されるように、歴史認識の点から良好な関係であるとは言えない側面



もあります。しかし、私は両国による民間レベルでの交流の活性化が、今後の発展的な日韓関係構築につながるものと考えています。

初めてのボランティア参加ということで当初は不安な部分もありましたが、時には周りの方とフォローし合い、声を掛け合うことでスムーズに実施でき非常に有意義な時間を過ごすことができました。

ボランティアとは提供するものより、得るものが多くあり、普段の生活では関わることがないようなキャリアを持つ人と出会うことができます。

このメンバーで、過去最高の募金を頂きました

また、交流を通じて自分の視野も広がるとともに、新たな気付きや学びを元に人として成長できる点が参加の醍醐味でもあると感じています。

私は、今回のボランティアに参加して、同じ志を持った日韓の若者がひとつになることで、今後の日韓関係に貢献できるとともに、これからの世界を担う子どもたちの力になれるのだと強く確信しました。

今年は日韓国交正常化 50 周年という節目を迎えることから、日韓がさらに力をあわせていく必要があるのではないのでしょうか。

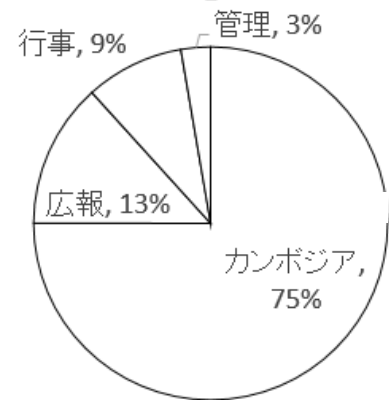
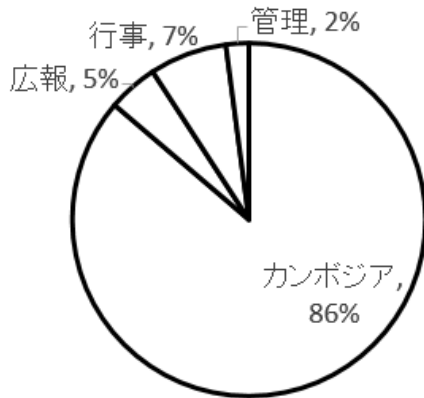
今回の参加を契機に、これからもさまざまな活動に積極的に参加し社会に貢献していけたらと考えています。そして、日韓アジア基金の活動がさらに発展し、今後のアジアの未来構築の一端となることを心から願います。

お金の使い途を中心にした決算報告と予算

2014年度支出
(2014年1月～12月)
総額 174 万円

日本

2015年度予算
(2015年1月～12月)
総額 133 万円



- ・カンボジアへの送金が例年より多いのは、円安と教科書代の値上がりのためです。
- ・広報費は、ニューズレターの印刷・送料と外部イベントへのブース出展費用が主なもの。
- ・行事費はビビンの会の開催経費で、参加会費の余分は当会への寄付とさせていただきます。
- ・管理費は通信費・消耗品費・印刷費です。

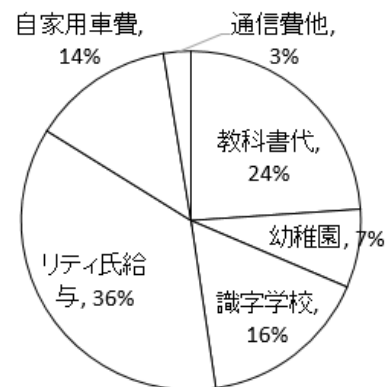
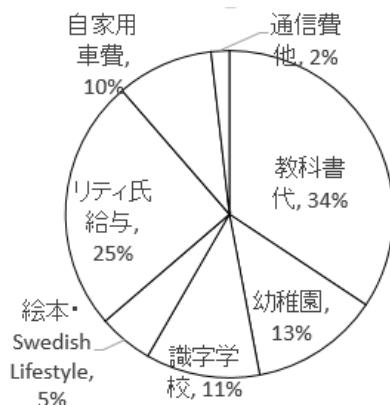
- ・総予算が昨年度より減っているのはニューズレター52号で報告した通り、教科書支援をクメール語のみにし、幼稚園の支援を4月から中止したためです。
- ・行事費は、ビビンの会の年2回の開催費です。これは会費との相殺を予定しています。また余分が出た時は差額を寄付とさせていただきます。
- ・他はほぼ前年度並みと考えています。

支出に占める管理費の割合が、2から3%と非常に低い値になっています。これは国内スタッフが全員ボランティアで、人件費及び交通費等が零であること及び事務所経費が貸主であるアジア文化会館様のご好意で無料であるという特殊事情によります。

2014年度支出
(2014年1月～12月)
総額 13,940ドル

カンボジア

2015年度予算
(2015年1月～12月)
総額 9,610ドル



- ・教科書は、11校に総計4,263冊4,289ドルの支援をしました。
- ・幼稚園支援の内容は教員給与575ドル、Tuk Tuk運行費780ドル。
- ・識字学校は教員の給与1,320ドル、家賃240ドル。
- ・Swedish Lifestyle株式会社のご寄付7万2千円で11校に絵本を購入しました。
- ・自家用車は燃料代600ドル・エンジン交換583ドルが主なものです。

- ・教科書支援はクメール語のみ、幼稚園の支援は4月までとします。

独立した事務所を持たず、日本との連絡はインターネットカフェで行っていることで、管理費が大幅に低減しています。節減額は過去の実績から年間2千ドルと見込んでいます。これはリティ氏の努力に負うところが大きいです。

2014年度年次総会のご報告

表題の件、3月21日にアジア文化会館にて開催し、予定の議題は全て承認されました。

当会イベントにボランティアスタッフとして参加下さった方(敬称略・五十音順)

2015年3月8日 ニュースレター52号 発送作業

今井 詩音・大野 勝弘・大野 向輝・川村 優太・小泉 咲季・杉坂 亮太・千葉 まゆみ・土師田彩華・星野廣平・宮下 修・吉田一仁(11名)

2015年2月28日～2015年5月25日に会費・ご寄付を下さった方(敬称略・五十音順・除別枠)

五十嵐 安雄	小川 昭子	金 喜淳	柴田 義之	平塚 千尋	松田 えり子	渡部 澄江
磯尾 彊一	片岡 彩子	木村 由美	芝村 篤樹	細川 武・敦子	満井 啓二	
岩見 豊子	加藤 郁雄	越塚 忠巳	高木 桂子	堀川 泰義	宮本 直実	
大塚 紀子	菊池 礼乃	小林 栄次郎	高橋 周孝	松井 ふみ子	山根 寛	
大坪 玲子	菊池 貞子	坂口 博	田角 亜里沙	松田 明美	吉村 悦子	

募金:文京フェスタ2015

マールツァイト 白井 幸子

前号のニュースレターで当会の財政難をご報告した所、多くの方から通常よりかなり多額のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

ご入会・ご寄付のお願い

活動会員:年会費 5,000円(学生、未成年者 2,000円)
賛助会員:年会費1口5,000円(学生、未成年者 1口2,000円)
法人会員:年会費1口10万円
ご寄付:2,000円以上おいくらでも

<郵便振替口座>

口座番号 00180-2-25153
口座名 日韓アジア基金

- ・活動会員:活動に積極的にご参加頂ける方。総会での議決権があります。
- ・賛助会員:定期的にご支援頂ける方。

ご支援下さった方には「日韓アジア基金ニュースレター」をお届けします。

<お問合せ先> (日本語でお願いします)

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-12-13 アジア文化会館(ABK)内
Tel: 090-4456-2942(庶務・会計担当 大澤) FAX: 03-3946-7599(ABK)
E-メール: jkaf@iloveasia2.sakura.ne.jp
HP: <http://www.iloveasiafund.com>

発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也